

IV 計画の流れ

	食育の環を広げよう ～学ぶ！知る！体験する！身につける！～	
<目指す子どもの姿>	・食の大切さや楽しさを実感できる子どもの育成 ・食べ物や家族・地域への感謝の心をもった子どもの育成 ・望ましい食習慣と食の知識、選択する力を身につけた子どもの育成	
重点目標	食の大切さや楽しさを実感させる ・朝食の大切さを理解し、望ましい食習慣を身につける ・食の話題を通じて、食事を楽しみながら食べる	
	食べ物や家族・地域への感謝の心を育てる ・生産者や食べ物の恵みに感謝して、残さず食べることができる ・各地域の地場産物や食文化について、理解を深める	
	食を選択する力を育てる ・健康的な食生活を心がけて、食事をする ・安全や衛生を考えて、適切に食品を選択し、準備や片付け等ができる	

	最終目標	重点項目	評価指標	現状 H29 (2017)	目標 H34 (2022)	H30 (2018年)	H31 (2019年)	H32 (2020年)	H33 (2021年)	H34 (2022年)	
小・中学校	食に関する指導の充実	食に関する指導の全体計画に基づく指導の実践・見直し	児童生徒への「食に関する指導」の成果が感じられると評価する学校の割合	86%	95%	日々の給食の時間や献立を活用した食育の推進（給食を生きた教材として活用）					
						情報発信（献立表・給食だより・ホームページ）					
						給食参観・試食会・食育講演会等					
						◎年間献立テーマ「春夏秋冬～季節のめぐみをいただきます～」で提供される給食の活用	◎食農体験		◎献立コンクール		
						◎「早寝・早起き・朝ごはん」運動の実施	◎子どもが作る「弁当の日」		◎親子料理教室		
						・食農体験 ・子どもが作る「弁当の日」 ・献立コンクール ・親子料理教室	・年間献立テーマの活用 ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動 ・献立コンクール ・親子料理教室	・年間献立テーマの活用 ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動 ・食農体験 ・子どもが作る「弁当の日」			
保護者・地域	家庭での食育の推進	子どもの自立に向けた望ましい食習慣の支援	家庭での食育が大切だと思う保護者の割合	75%	80%	献立表・給食だより・ホームページの活用					
						◎「早寝・早起き・朝ごはん」運動の実践	◎食農体験・社会見学等の支援	◎食育啓発資料の活用			
						・食農体験・社会見学等の支援 ・食育啓発資料の活用 ・親子料理教室 ・子どもが作る「弁当の日」	・「早寝・早起き・朝ごはん」運動の実践 ・食育啓発資料の活用 ・親子料理教室 ・子どもが作る「弁当の日」	・「早寝・早起き・朝ごはん」運動の実践 ・食農体験・社会見学等の支援 ・親子料理教室 ・子どもが作る「弁当の日」			
						PTA活動（試食会、食育講演会）					
						学校応援団の活用					
						食教育推進委員会	学校や家庭への指導や支援	食育に関する資料の提供や講師の派遣	食育推進のために役立っていると80%以上の学校が評価する取り組み※の数	1項目	3項目
◎旬の食材の情報提供と「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進	◎地場産物を活用した「静岡ならではの献立」の提供	◎学校給食レシピの作成（ホームページに掲載）									
・地場産物を活用した「静岡ならではの献立」の提供 ・学校給食レシピの作成（ホームページに掲載）	・「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進 ・学校給食レシピの作成（ホームページに掲載）	・「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進 ・地場産物を活用した「静岡ならではの献立」の提供									
	情報発信（献立表・給食だより・ホームページ）										
	食育啓発資料の作成										

※取り組み… 1 栄養教諭・栄養士による指導、2 情報発信、3 食育啓発資料、4 「早寝・早起き・朝ごはん」運動、5 食農体験、6 全体計画モデル案、7 食育講習会、8 子どもが作る「弁当の日」、9 授業研修会、10 健康教室、11 親子料理教室・食育講座